

## ■用語の解説（五十音順 ⇒ アルファベット順 ⇒ 数字）

### あ行（あいうえお）

### か行（かきくけこ）

**介護予防事業：** 65歳以上のかたを対象に「介護が必要となる状態の予防」を目的とした事業で介護保険制度に位置付けられている。65歳以上のかた全員を対象としている事業と、65歳以上で介護サービスを利用するほどではないが、介護が必要になるおそれの高いかたを対象とする事業の2種類がある。

**課税客体：** 各租税で課税の対象となる物・行為・事実をいう。固定資産税であれば、土地や建物など、軽自動車税であれば車両。

**合併算定替：** 普通（地方）交付税の算定において、合併後の市が不利益とならないよう、合併後10年間は合併前の旧市町が別々に存在するものとみなし、それぞれ計算した額を合計して交付すること。合併後11年目から段階的に縮減され、16年目から通常の計算となる。

**官民連携（公民連携）：** 官庁（国、地方公共団体）と民間企業が協力し、一緒に事にあたること。

**キャリアラダー：** キャリアアップのための「はしご（ラダー）」の意味。仕事を難易度や賃金に応じて複数の職階に細分化。それぞれの職務内容や必要な能力を明確にし、下位職から上位職へ、はしごを昇るように着実に移行できるキャリア向上の道筋と、そのための能力開発の機会を提供する仕組み

**業務継続計画（BCP）：** 災害発生時など、人材や資材に制約がある状況下においても適切に業務を遂行できるよう、被害想定や優先すべき業務の整理、人員の配置案などをあらかじめ定め、備えておく計画。

**橋梁長寿命化修繕計画：** 老朽化した橋梁の急速な増加に対応し、安全性の向上や維持管理コストの縮減・平準化を図るため策定する計画。

**クラウドファンディング（CF）：** 群衆（crowd）と資金調達（fundin g）をかけた造語。インターネット上で不特定多数の人から、事業やサービス等にかかる資金を調達する仕組み。

**グリーンツーリズム：** 緑豊かな農山漁村地域でゆっくりと滞在し、訪れた地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ体験型の余暇活動。

**経常収支比率：** 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合のこと。財政の硬直度を表し、この指数が低いほど財政運営の弾力性が高い。

**公民連携：** ⇒「官民連携」を参照

**公共施設総合管理計画：** 地方公共団体が所有する全ての公共施設等を対象に、地域の実情に応じて、総合的かつ計画的に管理する計画。将来的な施設の老朽度合いや発生する維持管理費用を予測し、計画的に施設の修繕や適正な配置についての全体的な方針を定めるもの。

**高齢化率：** 65歳以上の人々が総人口に占める割合のこと。

**コンセンサス：** 意見が一致すること。合意。

**コンプライアンス：** 法令遵守。企業や組織などが、法令や規則をよく守ること。

## さ行（さしすせそ）

**自治体クラウド：** 地方自治体が住民情報などを民間のデータセンターに移し、クラウド上でサービスを受けられる環境のこと。複数の自治体でデータを共同管理することで、コストの削減や費用に比して高度なセキュリティが期待できる。

**指定管理者制度：** 地方公共団体やその外郭団体に限定せず「公の施設」の管理・運営を、民間事業者などの団体に包括的に代行させることができる制度。サービスの向上と経費の削減が期待できる。

**シティプロモーション：** 自らの住む「まち」の魅力を高め、「まち」を商品として、市内外に様々な営業活動（売り込み）を行うことにより、人口、観光振興、企業進出、人材などを外部から呼び込み、「まち」を経営する財産を獲得するもの。

**ジョブローテーション：** 人材育成を目的として配置転換、異動、職務変更を定期的に行う仕組みのことを指す。

**生産年齢人口：** 15 歳以上 65 歳未満の年齢の人口で、生産活動に就き労働力の中核となる年齢層の人口。

**スクラップ・アンド・ビルド：** 企業活動などにおいて、工場設備や組織などで、採算や効率の悪い部門を整理し、新たな部門を設けること。行政においては、非効率で必要性の低い事業を縮小、廃止し、新たなニーズに対応した事業を立ち上げたり、拡大すること。

**ストック・マネジメント：** ⇒「ファシリティ・マネジメント」を参照

**精神障害者医療助成金：** 自立支援医療制度（精神科の病気で治療を受ける場合、外来への通院、投薬、訪問看護などについて、健康保険の自己負担の一部を公的に支援する制度）に加えて、坂東市が独自に実施している医療費助成制度

**生活排水ベストプラン：** 茨城県が策定するもので、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽といった污水处理施設を最も効率的（ベスト）に配置して、整備や維持管理を進めるための整備構想。

## た行（たちつと）

**地方公会計制度：** 地方自治体の会計制度に「発生主義・複式簿記」といった企業会計的要素を取り込むことにより、資産・負債などのストック情報や現金主義の会計制度では見えにくいコストを把握し、自治体の財政状況等を分かりやすく開示するとともに、資産・債務の適正管理・有効活用といった中長期的な視点に立った自治体経営の強化に資するもの。

**地方創生：** 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府と各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指すこと。

**超高齢社会：** 65 歳以上の人が総人口に占める割合のことを高齢化率といい、高齢化率が 7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」という。

## な行（なにぬねの）

**ネーミングライツ：** 命名権制度。公共施設等に名称を付与する権利及びこれに付帯する諸権利等（パートナーメリット）をいう。一般的に、企業等が、施設の保有者（自治体等）に、命名権料を支払い、施設の愛称に企業名や商品名等を付けることで、宣伝効果を期待するとともに、自治体等の財源に寄与することで、社会的貢献を果たすもの。

## は行（はひふへほ）

**ファシリティマネジメント：**（自治体等が）組織活動のために、施設とその環境を総合的（最適）に企画、管理、活用する経営活動。

**畑地帯総合整備事業：** 茨城県が主体となって行う農地整備。区画整理、農道、用排水施設などの基盤整備事業を効率的に組み合わせて行い、農作物の品質や収量を高めたり、生産コストを低減することで農業経営の向上と安定を図る事業（事業費割合：国 50% 県 25% 市+地元 25%）

**放課後総合子どもプラン：** 文部科学省、厚生労働省が共同で策定。共働き家庭等の「小1の壁」や「待機児童」を解消するとともに、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子供教室の両事業の計画的な整備等を推進するもの。

**震災復興関連交付金：** 東日本大震災からの復興に関する事業に対して交付される地方交付税交付金

## ま行（まみむまも）

## や行（やゆよ）

**要介護認定率：** 介護保険 1 号被保険者（65 歳以上の加入者）における要介護の認定を受けた人の割合のこと。

**有収率（水道）：** 浄水場などから供給した配水量のうち、水道料金の徴収対象となった水量を示す有収水量の割合を示す数値。有収率が 100 に近いほど効率の良い水道事業が行われていることになる。

## ら行 (らりるれろ)

**リサイクル・リユース**： リサイクル (Recycle)は、形状を変えて再利用しようするもの。  
(例：ペットボトル⇒フリース、段ボール⇒再生紙 空き缶⇒アルミ・鉄製品)  
リユース (Reuse)は、そのままの形状で再度使用すること。

**ライフサイクルコスト (LCC : life cycle cost)**： 製品や構造物を取得・使用するために必要な費用の総額。企画、設計から維持、管理、廃棄に至る過程 (ライフサイクル) で必要な経費の合計額を指す。

## わ行 (わ)

**ワーク・ライフ・バランス**： 仕事と生活の調和を指す。年齢、性別にかかわらず、誰もが働きながら私生活を充実させられるよう、職場や社会環境を整えること。

## アルファベット (A B C . . . )

**AI(人工知能)**： 人間の知的ふるまいの一部を、ソフトウェアを用いて人工的に再現したもの。経済産業、医療福祉のほか、人間生活への活用など、実用化が進められている。

**B C P**： ⇒「業務継続計画」を参照

**B P R**： ビジネス・プロセス・リエンジニアリングの略。業務プロセス (発生から完了に至る過程) そのものを抜本的に見直し、全体を一から構築し直す取り組み。

**C F**： ⇒「クラウドファンディング」を参照

**Pay-easy (ペイジー)**： 各種料金などの支払いを、ATM、パソコン、スマートフォン等を利用して決済する (支払う) ことができるサービス

**P D C A**： 仕事 (事業活動・行政活動) において、目標を設定し達成するための管理などを円滑に進める手法。Plan (計画) →Do (実行) →Check (評価) →Action (改善) の順番で、進捗管理を行う。

**P F I**： 公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図ること。上記 P P P の代表的な手法の一つ。

**PPP**： パブリック・プライベート・パートナーシップの略。公（官）と民間が連携して公共サービスの提供を行う手法のこと。

**QOL（クオリティオブライフ）**： Quality of Life の略。「生活の質」と訳すこともある。物理的な豊かさやサービスの量、個々の身の自立だけでなく、精神面を含めた生活全体の豊かさと自己実現を含めた考え方。

**RPA**： ロボティクス・プロセス・オートメーションの略。コンピュータ上で人間が行う作業を記憶させることで、定型的な業務等を自動化するもの。

## 数 字

**2025年問題**： 団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれ、サービスの担い手や財源不足等が懸念されている。